



答弁中の中嶋町長

ほたるの湯の活用は

今後の動勢をみて検討

「ほたるの湯」維持には、人件費・点検整備費・光熱水費がかかります。老朽化等による故障も予想されます。近隣の志免町・篠栗町の風呂は、休憩所で食事ができたり、朝市がある等、便利で入浴料金も安いです。入浴料収入と年間の必要経費等の費用対効果は。大幅赤字の中で「ほたるの湯」運営継続は。

高齢化が進み、国保や介護保険料も増加しています。筋力トレーニングや健康体操等が毎日継続して行える場。血圧測定・健康や福祉の相談ができる場。一日を楽しく集えるコミュニティの場として福祉センターを転換して活用するお考えは。

中嶋町長

年間の利用者数が、3万4千人程度で、ほたるの湯だけで900万円ほどの収益を出しています。しかし、光熱水費・人件費等、年間2千万円程度の赤字であることから、費用対効果の面で、廃止も含め、今後のあり方を担当部局に検討させます。



今村 桂子 議員

また、食事の提供については、福祉センターとオイコスが一体で利用していただきたくと考えており、オイコスでは「YUZUKA」がカレーライスを提供しています。また、一日を楽しく集えるコミュニティの場として福祉



地域活性化センターと福祉センター

センターを転換して活用することについては、前述したように、共同施設として捉え、2館を行き来しながら住民の方々にご利用いただければと考えています。

消防水利施設の整備は十分か

現状では足りていないと考える

消防団は、町の非常備の消防機関であり、消防団員は非常勤特別職の地方公務員である一方、他に本業を持ちながら「自らの地域は自らで守る」郷土の愛護の精神に基づき、消防団に参加し、地域の消防防災活動に従事しています。日頃の皆さまの活動に感謝いたします。

中嶋町長

消防団の大きな役割の一つ

に、火災時の消火活動があります。消火活動に最も必要なのが消防水利施設です。町長にお尋ねします。防火水利には、消火栓、防火水槽以外の溜池・河川・プール等がありますが、緊急時に使用は可能ですか。また、そのための整備はされていますか。



松山 力弥 議員

防火栓や防火水槽以外の河川・農業用ため池・井堰等の自然水利については、通常の消防水利としてカウントしていません。しかしながら、火災が発生した場合に、現場の状況に応じて、消火栓や防火水槽よりも、河川等の自然水利が消火活動に優位

であるときは、給水が可能であれば代替の消防水利として利用することもあります。また、有事の際に備えて、農閑期においても、農区のご厚意により井堰を揚げて水を常時溜めていただいているところですので、次に、浄水場・貯水池の水道施設については、飲料水の供給施設であるため、衛生面からも消防水利としての想定はしています。今後、緊急を要し、やむを得ず水道施設からの給水を必要とする事態が発生した場合には、上下水道課職員の指示・監視のもと、中柱田貯水池を開放することとしています。



須恵町消防団模擬火災訓練の様子（旅石区）

最後に、公設の消防水利ですが、町内に消火栓372基、防火水槽104基を設置しています。現状では、十分だと思っております。また、現在、各行政区からの消防水利の新設要望も特段ありません。